

千葉県精神科救急医療システム実施要綱に基づき指定する 精神科救急医療施設等の選定について

1 精神科救急基幹病院（第5条）

二次医療圏をその精神科救急医療圏とし、圏域ごとに1か所（地域の実情に応じて最大2か所）の基幹病院を指定する。指定基準は圏域ごとに以下の順位とする。

- （1）精神科救急急性期医療入院料又は精神科救急・合併症入院料（以下、「精神科救急急性期医療入院料等」）を算定する病棟を有する保険医療機関。
- （2）精神科救急急性期医療入院料等を算定する病棟の基準を満たし、認可を受けるために実績を作っている途上の保険医療機関
- （3）精神保健福祉法第33条の7第1項の規定による応急入院指定病院であること。
- （4）上記1から3に該当する病院がない圏域においては、隔離対応を含めた入院治療に常時対応できる病院であって、かつ精神科救急急性期医療入院料等を算定する病棟を持つ計画を有する保険医療機関。
- （5）上記（1）から（4）に該当する病院がない圏域においては、隔離対応を含めた入院治療に常時対応できる病院であって、かつ地域の中核的なセンター機能を持つ精神科救急医療体制を構成する施設である保健医療機関。

2 精神科救急輪番病院（第6条）

精神科救急基幹病院を除く、国立病院及び精神保健福祉法第19条の8の規定による指定病院とする。

また、実施要綱で定める各ブロックの実情に応じて、非指定病院等の中から、以下の各条件を満たす病院を追加して指定する。

但し、ブロック内に該当病院が少なく、輪番体制の確保に支障がある等の地域の実情があるときは、必要最低限の範囲で、基幹病院において輪番病院としての空床を確保することができるものとする。

- ・ 精神科救急医療に前向きに取り組む意欲のある病院
- ・ 輪番当番日において、精神保健指定医等必要な職員を配置して精神科救急患者に対する診療応需体制が取れる病院
- ・ 過去2年以上に渡り、精神科病院実地指導において重大な指摘・指導事項のない病院

3 精神科救急措置輪番病院（第8条）

精神科救急基幹病院を除く、国立病院及び精神保健福祉法第19条の8の規定による指定病院とする。

但し、ブロック内に該当病院が少なく、輪番体制の確保に支障がある等の地域の実情があるときは、必要最低限の範囲で、基幹病院において輪番病院としての空床を確保することができるものとする。

4 身体疾患合併症対応協力病院（第8条の2）

別紙のとおり